



れんごう ふくおか

No.291

RENGO FUKUOKA

2014年11月13日発行
発行：日本労働組合総連合会福岡県連合会
発行人：西村芳樹 編集人：上野茂伸
〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル
TEL.092-283-5529 FAX.092-283-5611
連合福岡のホームページ
<http://www.rengo-fukuoka.jp/>
連合福岡のメールアドレス
info@fukuoka.jtuc-rengo.jp

第17回

連合福岡定期大会

去る10月29日、(1)労働者保護ルールをないがしろにする現政権の暴走阻止への決意と、17万連合福岡実現に向けた産別と連合福岡との連携、(2)地協エリアに所在する全産別構成単組と当該地協が協力し合える運動体制の構築、(3)組織拡大対応を進めていく上での構成産別と連合福岡との連携強化等の意見を補強し、第17回連合福岡定期大会は成功裡に終了しました。また、構成組織の役員変更にともない今大会で退任されることとなった役員の後任として、新たに3名の役員を信任し後半年度に向けた活動のスタートを切りました。



高島会長の挨拶

連合福岡結成初となる女性議長団2名を選出し始まった大会の冒頭、高島会長は挨拶の中で、(1)7,427名の拡大を果たした前半年度の実績への心からの感謝と、17万連合福岡構築への取り組み強化、(2)労働者保護ルール改悪と、国民目線に立たない安倍政権への批判と、反転攻勢に向けた2014春季生活闘争、第18回統一地方選挙闘争への結集、そして、(3)「連合福岡」は、一つも二つも汗をかき、構成組織の皆さんと、県民の皆さんと共に、政治を私たち労働者と生活者の手に取り戻したいと強く訴えました。



団結ガンバロー

これから、昨年の第16回定期大会で確認した2年間の視野に据えた方針の仕上げとなります。大会終了後の第14回執行委員会では、連合福岡事務局の新たな任務体制を確認しました。



25年間 ありがとう！

連合福岡は1989年12月に20万人の組合員で結成された。25周年を迎えた今年、2人の役職員が連合福岡を退職した。どちらも連合福岡が結成された25年前より連合運動を縁の下から支えてきていただいた。一人は、生き字引として連合運動の継承に尽力され、この機関誌も25年間担当された。もう一人は金庫番として連合の財政を管理して頂くと共に、資料の管理をコツコツとしていただいた。

結成25周年の歳月を考えると、何人もの役員が交代しこの2人に世話になってきた。本当に頭が下がる思いだ。

昨年と今年の大会で専従役員が総入れ替えになった。「温故知新」古きを知る者が近くにいない事は不便を感じるが、30周年に向けた新たなスタートとして身が引きしめる思いだ。

最後に 上田静生さん 佐々木豊子さん25年間 本当にありがとうございました。

新風を取り入れ後半の運動へ

さる10月29日の第17回定期大会において、2年スパン後半の運動方針を確認しました。また、現役員体制を一部補充した新たな体制を確立していただきました。連合福岡結成25周年という節目にふさわしい活動を展開していく決意です。

今大会で遠藤副事務局長と松本局長が退任されました。彼等のこの間の労に敬意を表します。一方で、新しく川崎副事務局長と古江常任執行委員、そして山本執行委員を迎えることが出来ました。連合福岡の運動に新風を吹き込んでくれるものと期待しています。

非正規労働者をはじめとする多くの労働者がますます不安定な雇用を強いられ、格差と貧困が依然として深刻な状況の中にあります。継続して私たち労働組合の社会的責務を果たすべきであることを改めて確認しました。

そのため、マクロ的には連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて取り組みをすすめますが、具体的には、働く者すべてに貢献できる運動として、「非正規労働センター」を中心に運動の展開を図ります。それらの運動の中で「1000万連合」の達成に向け、仲間を増やす取り組みを一層強力に行います。

また、それぞれの力の結集を軸に、新体制での集団的指導体制を強化し、さらに充実させたいと考えます。産別・単組の縦糸と、地域協議会の横糸を有機的に結合させ、職場と地域に根差した活動を進めることが重要です。そして、広く県民の共感を得られる運動を進め、連合福岡17万人達成に繋いでいきたいと考えています。

全構成組織と全地域協議会と組合員の皆さんに、ご指導、ご鞭撻をお願いし、執行委員会を代表しての挨拶と致します。



連合福岡 会長
高島 喜信

新 役 員 紹 介

副事務局長 **川崎 智喜**
(出身産別：基幹労連)



“連合結成25年！
時代の変化に即
応した運動をめ
ざし頑張ります。”

常任執行委員 **古江 伸介**
(出身産別：私鉄総連)



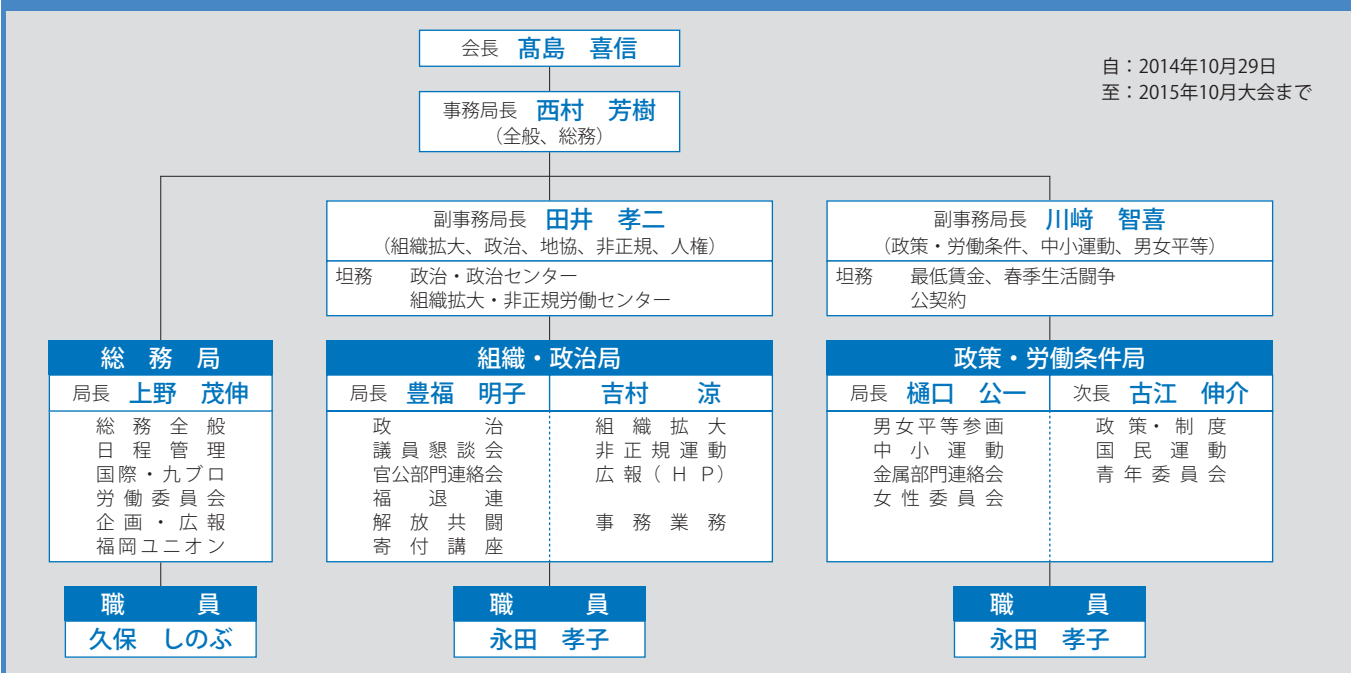
“職場での運動
経験しかありま
せんが、体当た
りで頑張ります。”

執行委員 **山本 章宏**
(出身産別：U Aゼンセン)



“微力だけど無
力じゃない！”
の精神で頑張
ります！”

第14期後半 連合福岡事務局体制





STOP THE 格差社会！ 労働者保護ルール改悪阻止



2014年10月10日（久留米）、11日（北九州）
「労働者保護ルール改悪阻止・全国縦断アピールリレー」
タスキを連合佐賀から連合福岡へ！

“残業代ゼロより、過労死ゼロ”

“生涯派遣で低賃金につながりかねない“派遣法改悪”NO！”

【労働者派遣法改正案】

社員ゼロ、“生涯”ハケンで
“低賃金”のルール改正阻止！

【ホワイトカラー・イグゼンプション】

過労死を増大させる懸念のある
制度の導入阻止！

労働者保護ルールを改悪することは、労働者の将来不安を招くものであり、ますます格差社会拡大につながります。加えて、長時間労働によるワーク・ライフ・バランスを壊すことの原因にもなりうるものです。

連合は9月25日から「生涯派遣で低賃金を払拭」「残業代ゼロより過労死ゼロ」をスローガンにSTOP THE 格差社会！「全国縦断アピールリレー」を行い運動の輪を広げ、安心社会の実現を訴えています。東は北海道、西は沖縄を起点とし、全国47都道府県にタスキをバトンにして12月5日のゴール（東京）をめざしています。

連合福岡には、10月10日久留米集会以て、連合佐賀青柳副会長からタスキが渡され、西村事務局長は「このタ



久留米集会

スキをしっかりと引き継ぎ、広く県民のみなさんにアピールし、世論喚起を高めていきたい」と力強く挨拶しました。

翌11日は、県内を縦断しながら街宣車で訴えた後、小倉駅コレット前にて、高島会長から「ただでさえ長時間労働となっている実態の中で、更なる過重労働となる。働く者の団結で、労働者保護ルール改悪を阻止しよう！」と呼びかけました。



北九州集会

連合福岡非正規労働センター 福岡セミナー

10月17日（金）連合福岡非正規労働センターが企画・主催し、基本的なワーク・ルールを学べる「福岡セミナー」が、福岡市・天神ビル会議室で開催し、115名にご参加いただきました。

今回は福岡県、福岡市、春日市、大野城市、筑紫野市、太宰府市の後援、連合福岡地協、筑紫・朝倉地協の協力をいただき、行政機関や商業施設へのチラシ設置、リビング誌への広告掲載など、連合福岡の組織内・組織外を問わず、幅広くセミナーの参加を呼びかけました。また、終業後に参加してもらえよう、平日の夕方に日時設定をしました。



市川弁護士の講演

市川俊司弁護士の講演と、ワーク・ルールクイズという2つのテーマで進行し、参加者にワーク・ルールの重要性を認識していただけたと感じました。

非正規労働センターは、昨年9月に設立したまだまだ新しい組織です。今年度の取り組みを反省・総括し、さらに良いものにするため委員会でも議論を重ね次年度に活かしていきたいと思っております。



クイズ挑戦者への景品授与

2014年 家族森林教室

連合福岡は、10月26日（日）に北九州市小倉南区の「連合の森」において、構成組織の組合員とその家族42名（うち子供18名）が参加するなか、自然と触れ合いながら森林の果たす役割や林業について理解を深めることを目的とした『家族森林教室』を開催しました。

間伐作業の体験教室では、参加者が五班に分かれ、森林監督署のスタッフの皆さんからなぜ間伐が必要なのか、間伐する木の倒し方等について説明を受け、子供たちは慣れない手つきでノコギリを引いていました。

また、昼食後の木工教室では、親子共同作業で松ぼっくりツリーを作り上げました。



森林伐採の様子

INFORMATION

年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の基本ポートフォリオ変更に対する談話(要旨のみ)

2014年11月4日
日本労働組合総連合会
事務局長 神津里季生

1. 政府が「日本再興戦略」などで厚生年金保険法の趣旨を逸脱し、被保険者の利益ではなく、経済成長のために運用の見直しを掲げていることが背景にある中での変更であり大きな問題がある。何より保険料の拠出者である労使や国民に対する十分な説明を欠いたまま変更したことは、極めて遺憾である。
2. 今回の変更は、政治的介入のもと、次期「中期計画」を待たずして前倒しで行ったものであり、財政検証の位置づけを不明確にするものである。
3. 年金積立金は、被保険者が将来の生活の安心を確保するための保険料の一部である。国内債券の比率を大幅に引き下げ、国内外の株式の比率を大幅に引き上げたことで、リーマン・ショック時の損失実績をはるかに上回る損失発生可能性のあるポートフォリオとなった。国民は受給額削減という大きなリスクを抱えたことになる。
4. 連合は、世論喚起をはかりつつ、被保険者の利益のための安全かつ確実な運用の堅持、GPIFにおける適切なガバナンス体制の構築、政治的介入の阻止のため、構成組織・地方連合会と一体となって取り組みを強めていく。

第25回連合福岡 青年委員会総会および女性委員会 活動報告会(記念講演会)

1. 開催日時 2014年12月6日(土) 13:00～
17:00(受付12:30～)
2. 開催場所 天神チクモクビル6F大ホール
(福岡市中央区天神3-10-27 TEL092-715-3250)
3. 内容
(1) 第25回青年委員会総会(13:00～14:30)
(2) 女性委員会活動紹介(14:40～15:20)
(3) 「記念講演会」(15:30～17:00)
《講師》吉村 伊織氏
NPO法人ファザーリング・ジャパン九州理事
日本メンタルヘルス協会 公認心理カウンセラー
《演題》「男女平等参画推進とメンタルヘルスについて(仮題)」

「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーン 第3弾「労働者保護ルール改悪阻止行動12.5全国統一集会」

- I. 街頭行動
1. 日時 2014年12月5日(金) 17:30～18:00(※集合17:15)
2. 場所 天神周辺 ※集合:イムズ横(連合福岡ニュースカーを日印)
3. 内容 (1) マイクによる街宣 ※ニュースカーに登壇
(2) ティッシュ・チラシ配布
- II. 全国統一集会
1. 日時 2014年12月5日(金) 18:20～(受付18:00～)
2. 場所 西鉄ホール
(中央区天神2-11-3ソラリアステージ6F ☎092-734-1362)
3. 目的 「労働者保護ルール改悪阻止行動」の全国行動の節目としてリレーのゴール、各都道府県での取り組みを報告する場を東京(日比谷野音会場)に設け、その様子をインターネットで中継し、全国で共有・アピールする。

SCHEDULE これからの主な日程

- 11月19日 ▶ 第5回政策委員会
第11回政治センター委員会
第10回女性委員会役員・幹事会
- 21日 ▶ 第12回政治センター委員会
第16回四役会議
- 25日 ▶ 官公部門連絡会第5回役員・幹事会
- 27日 ▶ 第13回青年委員会
- 28日 ▶ 第15回執行委員会
連合福岡結成25周年記念レセプション
- 12月4日 ▶ 第3回組織拡大推進委員会
- 6日 ▶ 第25回青年委員会総会および女性委員会
活動報告会(記念講演会)
- 9日 ▶ 第27回事務局会議
- 14日 ▶ 第3回地協議長・事務局長会議
- 17日 ▶ 第28回事務局会議
- 19日 ▶ 第17回四役会議
- 25日 ▶ 第16回執行委員会

連合福岡主催 ほんでも法律相談

※申し込み、問い合わせは、最寄りの地域協議会・
労福協に電話で予約して下さい。
10時～17時(土日祝日を除く)

エリア	11月	12月	エリア	11月	12月
福岡	25日(火)	9日(火)	遠賀川	28日(金) 水巻教育会館	10日(水)
		24日(水)			19日(金)
筑紫・朝倉	済	2日(火)	北九州	19日(水)	17日(水)
北筑後	18日(火)	16日(火)	京築・田川	済	3日(水)
南筑後	済	10日(水)			

九州ろうきん福岡県本部は 福岡県「ふくおか・みんなで家族月間」 キャンペーンへ参加しています。

- ◆キャンペーン期間◆
2014年11月1日(土)～11月30日(日)
- ◆キャンペーン特典◆
小学生以下のお子さまと一緒に、県内の営業店・ローンセンターへご来店されたお客様(各店:先着50名様)に「おーきなクレヨン12色」をプレゼントいたします。ご融資・ご預金などのご相談もぜひお待ちしております。



福岡県内各店
先着
50名様



ZENROSAL NEWS



火災・自然災害・盗難まで幅広い保障

自然災害保障付 火災共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

いつ起きても
おかしくない
火災や自然災害から
暮らしを守ります。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済福岡県本部
(福岡県労働者共済生活協同組合)
<http://www.zenrosai-fukuoka.coop/>



保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会
4014B010